

「佐賀県『食』と『農』の振興計画2023」の 令和5年度の実施状況

令和6年8月

農林水産部農政企画課

<目次>

1 振興計画2023の概要	3
2 計画で設定している成果指標の進捗状況	7
3 順調に進捗している主な指標の要因分析	13
4 進捗が特に遅れている主な指標の要因分析と対応状況	14
5 重点項目の主な取組・成果	16
6 各地域の重点項目の主な取組・成果	28
7 関連統計	34

「佐賀県『食』と『農』の振興計画2023」の概要 ①目指す姿等

<計画の目指す姿>

計画の性格

さがの食と農を盛んにする県民
条例第27条に基づく計画として
策定

計画の期間

策定 令和5年(2023)

中間目標 令和8年(2026)

目標 令和14年(2032)

【目指す姿】

『磨き、稼ぎ、未来へつながるさが農業・農村』の実現

農業者が、収量・品質の向上や経営の規模拡大・多角化等により経営力を「磨く」ことで、若い人達が農業に魅力を感じるような所得を「稼ぐ」ようになっている。また、「稼ぐ」経営体を見て新たな担い手が確保されていくことで産地や農村が活性化し、本県農業が「未来へつながる」好循環が生まれている。

3

「佐賀県『食』と『農』の振興計画2023」の概要

②将来のさが農業の発展につながる園芸振興

<将来のさが農業の発展につながる園芸振興>

収益性の高い園芸農業の振興に軸足を移し、「稼ぐ農業」を実現

稼ぐ農業の実践により所得向上を達成した農家の姿を見て、新たな担い手が就農し、規模拡大や産地の発展につなげるという好循環を県内各地に生み出していくことを目指す。



【主な具体的取組】

- トレーニングファーム等の設置から修了生の受け皿整備までを一連で行う「新規就農支援システム」の推進
- 農地中間管理事業の活用等による担い手への農地集積・集約の促進
- 施設園芸の大規模化及び統合環境制御技術の普及と効果的活用
- 露地野菜での省力集荷体制の整備、新規作付及び流通・販売業者との契約取引等の推進
- 果樹における園地の新規整備やみかんの根域制限栽培の推進
- 労働力不足解消に向けたマッチングや農福連携、外国人材確保等の仕組みづくり、AI・IoTを活用した省力化・軽労化の推進
- 企業・法人の農業参入や規模拡大の推進等による経営力のある農業経営体の確保
- 県育成品種のブランド化、生産者と実需者・消費者とのマッチングの推進

4

＜施策の展開方向＞

施策の展開方向	推進項目
<p>I 磨き、稼ぎ、つながる農業の確立【農業の振興】</p>	
<p>1 稼ぐ農業経営体の創出に向けた磨き上げ</p>	<p>(1)佐賀の強みを活かした収益性の高い農産物づくり (2)スマート農業の推進や新品種、新技術の開発・普及 (3)農村地域の資源を活かした経営の多角化・起業の促進 (4)県産農産物のブランド力の向上と販路の拡大 (5)持続可能で安全、安心な農産物づくり (6)多様な雇用人材の確保 (7)地域の営農ビジョンを実現する基盤整備の推進</p>
<p>2 次世代の担い手の確保・育成</p>	<p>(1)意欲のある新規就農者の確保 (2)経営力のある担い手の育成や女性農業者の活躍推進 (3)企業・法人の農業参入の推進 (4)優良農地の確保・集約</p>
<p>II 活力ある農村の実現【農村の振興】</p>	
<p>活力ある農村の実現</p>	<p>(1)食や農業・農村に対する理解促進とイメージアップ (2)中山間地域農業対策の推進 (3)有害鳥獣被害対策の推進 (4)快適で安全・安心な農村づくり</p>

5

＜施策の重点項目＞ 将来を見据え、計画期間中に特に力を入れて取り組む項目

<p>1. 次世代の農業を担う新規就農者の確保 就農希望者の掘り起こしから研修体制の整備、研修後の就農先の確保等により、着実に新規就農者を確保する。</p>	<p>7. 水田農業を担う生産組織の強化 構成員の協業による営農体制への転換を推進する。また、農地の集積・集約や作付の団地化、機械等の共同利用、経営の多角化等により、持続的な経営への転換を推進する。</p>
<p>2. 担い手への農地集積・集約 担い手への農地の集積・集約や農地の大区画化を推進。あわせて、農業水利施設の維持管理の効率化を推進する。</p>	<p>8. 多様な雇用人材の確保に向けた体制の強化 農業労働力確保に関する支援体制の強化や、地域の潜在労働力の発掘、農福連携など新たな雇用人材の活用に取り組み、多様な雇用人材確保の仕組みづくりを推進する。</p>
<p>3. 園芸団地の整備・拡大 新規就農者の受け皿だけでなく、一括発注による施設整備費の低減等のメリットがある園芸団地の整備を推進する。</p>	<p>9. 良質な堆肥の利活用の推進 堆肥を活用した資源循環型の営農体系への転換に向け、良質堆肥の生産拡大と耕種農家での利活用を推進する。</p>
<p>4. たまねぎの生産拡大 需要に応じた高品質・安定生産、集荷の省力化体制の整備や大規模農家育成、労働力補完の仕組みづくりを目指す。</p>	<p>10. 中山間地域農業の発展に向けた取組の強化 中山間地域の集落や産地が主体的に行う「農業所得の向上」「農業・農地の維持」「地域の活性化」に向けた取組を支援し、農業による元気な中山間地域づくりを目指す。</p>
<p>5. 果樹園地の新規拡大 園地の流動化により果樹園地の園地を確保するとともに、水田等の平坦なほ場での果樹園地の新たな整備を推進する。</p>	<p>11. 「プロジェクトIF」の推進 農業水利施設の治水的な活用を推進し、災害に強い農業・農村づくりを目指す。また、浸水想定エリアにおける農業用機械の避難場所の確保や保険加入を推進する。</p>
<p>6. 「佐賀牛」の生産基盤の強化と輸出の拡大 「佐賀牛」の生産基盤を強化するとともに、佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」の稼働を契機として、「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の一層の輸出拡大を目指す。</p>	

6

計画で設定している成果指標の進捗状況

令和8年度(中間目標年)に数値目標を掲げている項目	25項目
ほぼ順調に進捗している項目(➡) (基準年の数値と比較して前進している又は維持できている項目)	12項目
進捗が遅れている項目(↘&➡) (基準年の数値より後退している又は中間目標に向けた進捗割合が25%未満の項目)	11項目
令和5年度の実績数値が把握できていない項目	2項目

《総括》 約5割の成果指標が「ほぼ順調に進捗」

7

計画で設定している成果指標の進捗状況

施策の重点項目における成果指標

項目	基準	実績				R5 進捗 状況	中間 目標	目標
	R4	R5	R6	R7	R8		R8	R14
新規就農者数(人/年)	183	162				↘	190	190
農地の集積・集約に取り組む地区数(累計)(地区)	10	22				➡	56	128
園芸団地の整備数(累計)(地区)	4	11				➡	21	27
たまねぎの作付面積(ha)	2,010	2,130				➡	2,520	2,750
平坦地等への果樹の導入面積(累計)(ha)	15	18				➡	80	122
肥育素牛の県内自給率(%)	29.3	28.5				↘	32.3	34.5
牛肉の輸出量(t)※	66	84.9				➡	74	86
経営の協業化(プール計算等)に取り組む集落営農組織・法人数(累計)(組織)	20	25				➡	28	40
良質堆肥の流通量(千t)	21	36				➡	60	100
人手が足りている農家の割合(%)	55	調査なし				-	65	70
中山間地域農業の活性化に取り組む「チャレンジ中山間」の地区数(累計)(地区)	0	37				➡	60	72
洪水貯留可能容量(千m ³)(累計)	21,404	22,596				➡	25,400	25,900

※R1~R3実績の平均値

進捗状況:中間目標に向けた進捗割合が25%以上 ➡、進捗割合が25%未満 ➡、基準値より後退している ↘、実績なし -

計画で設定している成果指標の進捗状況

I 磨き、稼ぎ、つながる農業の確立【農業の振興】

1 稼ぐ農業経営体の創出に向けた 磨き上げ

項目	基準	実績					R 5 進捗 状況	中間 目標	目標
	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8		R 14	
いちごの10a当たり収量 (kg)	4,466	3,933					4,620	5,000	
露地野菜※ ¹ の作付面積 (ha)	3,178	3,103					3,848	4,411	
みかん根域制限栽培の導入面積 (累計) (ha)	12.9	13.4					62	95	
主要花き※ ² 1戸当たりの施設栽培面積 (a)	30.1	28.7					33	37	
一番茶販売単価の全国比 (%) ※ ³	113.1	114					115	120	
肥育素牛の県内自給率 (%) ★	29.3	28.5					32.3	34.5	
水田の耕地利用率 (%)	145.9 (R 4)	146.0 (R 5)					140	140	

★重点項目の指標 ※1…たまねぎ、れんこん、キャベツ、じゃがいも、レタス、ブロッコリー
 ※2…バラ、キク、ユリ、トルコギキョウ、カーネーション
 ※3…一番茶平均(全国)価格と西九州茶農業協同組合連合会扱いの一番茶平均から算出(直近5中3平均)

進捗状況:中間目標に向けた進捗割合が25%以上 、進捗割合が25%未満 、基準値より後退している 、実績なし -

9

計画で設定している成果指標の進捗状況

I 磨き、稼ぎ、つながる農業の確立【農業の振興】

1 稼ぐ農業経営体の創出に向けた 磨き上げ

項目	基準	実績					R 5 進捗 状況	中間 目標	目標
	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8		R 14	
農村ビジネスの新たな取組件数 (件/年)	25	25					25	25	
東京都中央卸売市場におけるいちご主要産地の平均単価との対比 (%) ※	95	94					99	100	
牛肉の輸出量 (t) ※★	66	84.9					74	86	
良質堆肥の流通量 (千t) ★	21	36					60	100	
人手が足りている農家の割合 (%) ★	55	調査 無し				-	65	70	
農地・農業水利施設の効率的な活用に取り組む地区数 (累計) (地区)	19	28					56	83	

★重点項目の指標
 ※R1~R3実績の平均値

進捗状況:中間目標に向けた進捗割合が25%以上 、進捗割合が25%未満 、基準値より後退している 、実績なし -

計画で設定している成果指標の進捗状況

I 磨き、稼ぎ、つながる農業の確立【農業の振興】

2 次世代の担い手の確保・育成

項目	基準	実績					R 5 進捗 状況	中間 目標	目標
	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8		R 14	
新規就農者数（人/年）★	183	162					190	190	
経営の協業化（プール計算等）に取り組む集落 営農組織・法人数（累計）（組織）★	20	25					28	40	
集約した農地に新規に参入する企業等の件数 （累計）（件）	0	1					30	100	
農地の集積・集約に取り組む地区数（累計） （地区）★	10	22					56	128	

★重点項目の指標

進捗状況：中間目標に向けた進捗割合が25%以上 、進捗割合が25%未満 、基準値より後退している 、実績なし -

||

計画で設定している成果指標の進捗状況

II 活力ある農村の実現【農村の振興】

活力ある農村の実現

項目	基準	実績					R 5 進捗 状況	中間 目標	目標
	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8		R 14	
さが食・農・むらサポーター登録数（累計） （件）	3,600	5,612					4,000	4,600	
中山間地域農業の活性化に取り組む「チャレンジ 中山間」の地区数（累計）（地区）★	0	37					60	72	
有害鳥獣による農作物被害額（億円）	2	未公表				-	1.2	0.8	
多面的機能支払制度により適正に保全管理を行う 取組割合（%）	67	67					67	67	

★重点項目の指標

進捗状況：中間目標に向けた進捗割合が25%以上 、進捗割合が25%未満 、基準値より後退している 、実績なし -

順調に進捗している主な指標の要因分析

項目	基準 (R4)	実績 (R5)	中間 目標 (R8)	要因分析
農地の集積・集約 に取り組む地区数 (累計) (地区)	10	22	56	各地域において園芸団地整備や企業・法人の農業参入を推進したことにより、園芸団地用の農地確保に取り組む地区や企業等の農業参入に積極的な地区が増えてきたため。
園芸団地の整備数 (累計) (地区)	4	11	21	トレーニングファームなどによる新規就農者確保の取組が進み、出口対策の一つとしての園芸団地の整備に向けた話合いが進んだことに加え、基盤整備及び施設整備への支援を強化したため。
経営の協業化 (プール計算等) に取り組む集落営 農組織・法人数 (累計) (組織)	20	25	28	集落営農法人研修においてプール計算方式や協業化について説明するとともに、補助事業の実施や地域農業振興センター等の現地機関が主導して支援したことから、各組織での段階的な協議が進んだため。
良質堆肥の流通量 (千t)	21	36	60	近年の化学肥料の価格高騰により耕種サイドにおける堆肥利活用の機運が高まっている中、「さが堆肥利活用スイッチ補助金」によるストックヤードの整備や堆肥散布機等の導入を推進したことなどにより堆肥の利活用が進んだため。
中山間地域農業の 活性化に取り組む 「チャレンジ中山 間」の地区数 (累 計) (地区)	—	37	60	新たに創設した「みんなの中山間チャレンジ応援事業」や「さがの元気な中山間地域づくり対策」などの支援策について、地域農業振興センターや市町等関係機関が積極的に推進したことにより、事業を活用して中山間地域農業の活性化に取り組む地区が増えたため。
洪水貯留可能容量 (千㎡) (累計)	21,404	22,596	25,400	近年頻発する豪雨による浸水被害を受けて、農地や農業水利施設の治水利用の取組への意識が各地域で醸成されてきている中、導入協力金や調整板配布による田んぼガムの推進、クレーク防災事業等による護岸の整備等により、水田、クレーク等の洪水貯留容量を有効に活用する取組が広がってきているため。

13

進捗が特に遅れている指標の要因分析と対応状況①

項目	基準 (R4)	実績 (R5)	中間 目標 (R8)	要因分析と対応状況
新規就農者 数 (人/年)	183	162	190	<p>(1) 要因 他産業との人材獲得競争や、資材や燃料の価格高騰による農家経営の悪化が影響し、Uターン就農が大きく減少したため。</p> <p>(2) 対応 首都圏等での就農・移住促進イベントやWEBサイトを活用し、本県農業の魅力や充実した就農支援情報を積極的に発信することで、就農希望者の呼び込みを強化するとともに、親世代へのアンケートによるUターン就農候補者（農家出身者）情報の集積や大型連休などの帰省時期に合わせた就農支援情報の提供など、農家出身者に焦点を当てた取組を通じ、Uターン就農者の確保に努める。</p> <p>また、トレーニングファームやミニトレーニングファームによる研修体制の構築、園芸団地整備や中古園芸ハウス継承の仕組みづくりなどによる初期投資の負担軽減、新品種・新技術の導入や経営の大規模化・多角化等による「稼ぐ」農業の実現を図ることで、新規就農者が意欲的にかつ、安心して農業を始められるような環境づくりに努めていく。</p>
肥育素牛の 県内自給率 (%)	29.3	28.5	32.3	<p>(1) 要因 子牛価格の低迷や配合飼料価格の高騰が続いていることから、繁殖農家の規模拡大意欲が低下しており、肥育素牛生産頭数が減少（R4：6,436頭 R5：6,413頭）したため。</p> <p>(2) 対応 優良雌牛の導入、繁殖牛舎整備の支援等による繁殖農家の規模拡大、繁殖肥育一貫経営の取組推進、令和5年5月に完成したブリーディングステーション「佐賀牛いろはファーム」の運営本格化などにより肥育素牛の生産拡大を進める。</p>
いちごの10 a 当たり収 量 (kg)	4,466	3,933	4,620	<p>(1) 要因 令和5年産は、育苗期の長雨と猛暑により病害の多発や苗の花芽分化が遅れたことで、定植後の生育及び出荷が全体的に遅れ、その後も曇天が続くなど気象条件にも恵まれず、収量はシーズンを通じて回復できなかったため。</p> <p>(2) 対応 雨よけ育苗の推進などによる健全苗の育成や、気化熱の効果を利用し花芽分化を促進させる紙ポットによる育苗、秋口の温湿度管理による年内の生育促進を図るとともに、温湿度管理など樹勢を維持する管理を推進・徹底することにより、「いちごさん」の安定生産を図る。</p>

14

進捗が特に遅れている指標の要因分析と対応状況②

項目	基準 (R4)	実績 (R5)	中間 目標 (R8)	要因分析と対応状況
露地野菜の作付面積 (ha)	3,178	3,103	3,848	(1) 要因 収穫や防除作業等の労働力不足や、高齢化による規模縮小、作柄に左右されやすく価格が不安定であることなどから、露地野菜全体（特に、キャベツ、レタス）で作付面積が減少したため。 (2) 対応 露地野菜の新規作付や面積拡大に対する支援事業を実施するとともに、労力補充の仕組みづくり、加工・業務用野菜の契約栽培の拡大などを進め、作付面積の拡大を図る。
主要花き1戸当たりの施設栽培面積 (a)	30.1	28.7	33	(1) 要因 若手農家を中心に規模拡大を推進しているものの、それ以上に高齢化等による経営規模の縮小が進んだため。 (2) 対応 大規模志向農家の掘り起こしと経営指導の強化を行うとともに、園芸県単補助事業の活用（長寿命化対策、リノベーション対策）を推進し、施設栽培面積の維持・拡大につなげていく。
東京都中央卸売市場におけるいちご主要産地の平均単価との対比 (%)	95	94	99	(1) 要因 農業団体等と連携して販売促進や情報発信に取り組んできた結果、「いちごさん」の市場単価は年々向上しており、R5年度も過去最高を記録したR4年度を更に上回る単価となったが、高単価で取引される年内から年明けにかけての出荷量が想定を下回ったことにより、市場からの需要に対応できず、主要産地と比較して単価が伸び悩んだため。 (2) 対応 各種技術対策により年内の生育促進を図るとともに、大都市圏における積極的なPR活動を展開することにより、更なる単価の向上を図る。

15

重点項目の主な取組状況・成果

◎ 将来のさが農業の発展につながる園芸農業 ～さが園芸888運動の展開～

「推進支部888計画」の推進

- 地域農業振興センター単位で組織する推進支部ごとに「推進支部888計画」を作成。
- 推進支部ごとに年4回の定例会を開催し、面積拡大や新規就農者確保の取組、重点的に推進する品目の目標等の取組状況を確認。



推進支部の定例会

「園芸産地888計画」の推進

- 各産地でも、部会等を単位として「園芸産地888計画」を作成。推進支部のサポートを受けながら、面積や販売額を増加させる取組を実践。
- 「さが園芸888整備支援事業」等により、ハウス整備や省力化機械の導入、ハウス内環境の「見える化」、高品質みかん生産拡大のためのシールドイングマルチの導入等を支援。



ハウス内環境の「見える化」の取組

積極的な情報発信

- 園芸農業に関する情報を分かりやすく発信し、佐賀県全体で園芸振興の機運を高めるため、「さが園芸888運動」のホームページを開設。
- 園芸農業の振興に係るイベントや各種支援策の情報等に加え、県内での成果事例を動画で紹介。



「さが園芸888運動」のHP

重点項目の取組状況・成果

1 次世代の農業を担う新規就農者の確保

就農希望者の掘り起こし

- 人材派遣会社のWEBサイト上に特設サイトを設置。佐賀県農業のPRや就農啓発セミナーの開催情報等を発信。
- 首都圏等での就農フェアや移住促進イベントへ出展。県内各地域では就農啓発セミナー等を開催。
- 農業高校生による先進農家での農業体験等を実施。



佐賀県農業PRのためのWEBサイト

就農希望者の研修体制の整備

- 17の生産組織でトレーナー制を導入。22名のトレーナーが研修生受入れを実施中。
- トレーナーの圃場の近くに小規模の研修ハウスを整備し就農希望者が研修する「ミニトレーニングファーム」の取組を新たに開始。いちご・アスパラガスで2箇所ずつ計4箇所整備。



いちごのミニトレーニングファーム
(唐津市半田)

就農先の確保支援

- 県内7地区で園芸団地を整備し、きゅうり、いちご、トマト等の品目で入植開始。
- 中古ハウスを新規就農者に継承する仕組みの構築に向けた取組を展開。



園芸団地 (嬉野市宮ノ元) | 7

重点項目の取組状況・成果

2 担い手への農地の集積・集約の推進

地域計画づくりを通じた農地の集積・集約の推進

- 地域計画策定の必要性や地域での話し合いを進めるためのスキルを学ぶ研修会を開催。
- 先行して地域計画の策定に取り組む34地域をモデル地域に設定し、先行事例づくりを支援。



地域計画策定推進研修会

農地中間管理事業の積極的な活用の推進

- 令和5年度の農地中間管理事業による貸付実績は640ha、取扱面積の累計は前年比106%の5,890ha。
- 園芸団地等向けに、集約した農地の出し手に協力金を交付する「佐賀県農地集約協力金事業」を創設。



園芸団地 (武雄市朝日町)

重点項目の取組状況・成果

3 園芸団地の整備・拡大

農地確保に向けた取組

- 令和5年度は、鹿島市(13.4ha)、伊万里市(3.6ha)、太良町(1.3ha)、唐津市(4.1ha)、玄海町(1.3ha)のそれぞれで園芸団地構想を策定。
- 園芸団地構想に位置付けられた農地は、農地中間管理事業を活用するなどして確保済み。

入植者の確保に向けた取組

- トレーナーの圃場の近くに小規模の研修ハウスを整備し就農希望者が研修する「ミニトレーニングファーム」の取組を新たに開始。いちご・アスパラガスで2箇所ずつ計4箇所整備。〔再掲〕



アスパラガスのミニトレーニングファーム
(佐賀市鍋島町)

園芸団地の整備・運営に対する支援

- 伊万里市と江北町の2箇所で、「佐賀県基盤整備促進事業(さが園芸888推進型)」を活用した基盤整備に着手。
- 農業公社やJAが事業主体となるリース方式の実施により、入植者の初期投資額を軽減。



基盤整備に着手した江北町門前地区

19

重点項目の取組状況・成果

4 たまねぎの生産拡大

高品質たまねぎの生産

- 早生作型への出荷量の偏りによる単価下落を回避するため、中晩生作型に誘導するチラシの配布や、部会研修会等での啓発を実施。
- 安定した価格での取引に向け、新規の契約取引先を開拓。⇒ 業務加工用の取扱は増加傾向。

病害対策等による収量増加

- べと病や貯蔵腐敗病の防除技術をまとめた「タマネギ病害マニュアル」を策定・配布。
- 排水改善による収量増加に向け、排水対策機械の実演会を実施。



籾穀弾丸暗きよ施工機の実演会

作付面積の拡大

- 大型鉄製コンテナでの収穫・乾燥から出荷までの機械化一貫体系を実証し、作業時間の短縮と軽労化を確認。
- 外国人材派遣会社と連携した、選果場での人材確保。
- 「さが園芸888整備支援事業」等により、白石地区を中心に収穫機械等の導入が拡大。



大型鉄製コンテナ乾燥システム

重点項目の取組状況・成果

5 果樹園地の新規拡大

園地や新たな担い手の確保

- 就農啓発セミナー「果樹産地見学会in小城」に加え、収穫時の労働力確保も目的とした「みかん収穫アルバイト体験会in小城」も開催。
- 果樹では初めてとなるミニトレーニングファームの設置に向けた支援を実施（唐津市に令和6年度設置予定）。



収穫アルバイト体験会

平坦なほ場での果樹園地の整備

- 白石町では、ぶどう「シャインマスカット」の園地0.5haを整備。吉野ヶ里町では、水田にぶどうと「にじゅうまる」の園地0.9haを整備。
- 果樹栽培に適した園地の土壌の基準を定めた「水田の畑地化基盤整備マニュアル」を作成。



水田に整備された果樹園地（白石町新開）

21

重点項目の取組状況・成果

6 「佐賀牛」の生産基盤の強化と輸出の拡大

「佐賀牛」の生産基盤の強化

- 県内の繁殖雌牛の導入に対する支援（令和5年度は169頭が導入され飼養頭数は増加傾向）。
- 「佐賀牛いろはファーム」が令和5年6月に稼働開始。
⇒ 令和5年度は133頭の繁殖雌牛を導入。令和6年4月から子牛出荷開始。
- 「佐賀牛いろはファーム」では、農家所有の不妊牛を預かり治療を行う取組も試験的に開始。



佐賀牛いろはファーム産子牛の初出荷

「佐賀牛」の輸出拡大

- 佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」の牛処理施設が、令和5年6月から本格稼働開始。同年12月には、アメリカ向け輸出食肉取扱施設として認定。
- 他の国・地域にも輸出が可能となるよう順次認定手続きを準備中。



佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」牛処理施設

重点項目の取組状況・成果

7 水田農業を担う生産組織の強化

法人化や協業経営方式への転換などの推進

- 県やJA等の集落営農支援担当者を対象に集落営農担当者研修会を開催し、法人化や法人化後の運営に関する講義や、ビジョンの策定・実践、法人化・協業化等に活用できる補助事業の紹介等を実施。
- 各地域では、集落ビジョンや発展プランの策定、ビジョン等に基づく共同育苗の実践、プール計算方式への移行、農業機械の集約化に向けた協議が実践されるなど、各地域で段階的な協業化に向けた取組が展開。



集落営農担当者向け研修会

持続性のある経営発展の推進

- 県内の集落営農法人を対象とした研修会を開催し、園芸品目の導入や6次産業化、雇用の確保、若手後継者の育成など発展的な組織運営に取り組んでいる県内の優良法人3法人の事例紹介やパネルディスカッションを実施。



集落営農法人を対象とした研修会

23

重点項目の取組状況・成果

8 多様な雇用人材の確保に向けた体制の強化

農業労働力確保支援体制の強化

- 令和5年度のマッチングアプリの登録生産者数は39戸（R4:12戸）、求人数515件（R4:25件）と大幅に増加し、延べ472人がアスパラガスやたまねぎ収穫等の作業に従事。



いちご生産者大会でのマッチングアプリ推進

農福連携の取組拡充

- 令和5年度は39経営体（R4:23経営体）で農福連携の取組実施。
- 佐城地区や唐津市では農福連携の推進に向けた協議会が立ち上がり、取組が拡大。



福祉事業所による農作業

地域や産地に応じた労働力確保の仕組みづくり

- ネパール等出身の特定技能外国人16名を受け入れ、令和5年4月～6月まで、白石町の3箇所のたまねぎ選果場で従事。



たまねぎ選果場で作業を行う
特定技能外国人

重点項目の取組状況・成果

9 良質な堆肥の利活用の推進

耕種農家のニーズに即した良質な堆肥の生産

- 堆肥コンクールを開催し、成績優秀者の堆肥の成分や供給条件等を県ホームページへ掲載。
- 堆肥生産者のペレット製造施設整備を支援。
- ペレット堆肥と化成肥料を混合した指定混合肥料の開発に向けた実証試験を実施。



堆肥コンクールの審査会の様子

堆肥利活用の推進

- 「さが堆肥利活用スイッチ補助金」により、堆肥を利用する地域におけるストックヤードの整備(21件)や堆肥散布機等の導入(173件)を支援。
- 堆肥と化学肥料の組合せによる低コスト施肥体系のモデル実証試験を実施したところ、2作目までは慣行栽培と同等の収量を確保できることを確認。



堆肥散布機(マニアスプレッダ)

堆肥の広域流通の推進

- 県内西部地域の堆肥センターの堆肥と畜産農家が比較的少ない東部地域の耕種農家とのマッチングを働きかけ。



ペレット堆肥製造機

25

重点項目の取組状況・成果

10 中山間地域農業の発展に向けた取組強化

中山間地域の特色を生かした農業の展開による「所得向上」

- トレーニングファームの運営支援など新規就農者の確保・育成に向けた体制づくりや、さといもやさつまいもなどの露地野菜の栽培等を支援。
- 中山間地域の特色を活かした取組を実践している農業者や法人を紹介する事例集を作成・配布。



中山間地域の特色を活かした取組の事例集

県民の生活を守る中山間地域の「農地」を維持する体制づくり

- 将来にわたって守るべき農地や多様な農地利用についての話し合いを集落で進めるため、「中山間地域等直接支払制度」の活用集落に対して、集落戦略の策定を市町とともに推進。
⇒ 411集落で集落戦略を策定。



集落戦略の作成に向けた話し合い

中山間地域を支える多様な人財による「地域の活性化」

- 農業・農村関係人口の創出に向けたセミナーを開催。
- 企業や大学等を対象に、中山間地域とのマッチングに向けた意向調査を実施。



農業・農村関係人口セミナー

26

重点項目の取組状況・成果

11 「プロジェクトIF」の推進 ～災害に強い農業・農村づくり～

「内水を貯める」取組

- ・ クリークの前放流により、11,990千 m^3 の洪水貯留容量を確保。
- ・ 農業用ダムの前放流により、5,023千 m^3 の洪水貯留容量を確保。
- ・ ため池の低水管理により、3,432千 m^3 の洪水貯留容量を確保。
- ・ 田んぼダムの取組により、2,151千 m^3 の洪水貯留容量を確保。



田んぼダム設置状況

「人命等を守る」取組

- ・ 農業用機械の避難場所確保や農業用機械の保険（共済）加入について、ラジオCM放送やチラシ配布等により推進。
⇒ 農業用機械避難場所：9市町で55箇所、4,314台分
⇒ 農機具損害共済の加入台数：6,765台（R4から5%増）
- ・ 大雨警報が発令された際の各市町を通じた生産者への避難の呼びかけを実施。



農業用機械の避難と保険加入のチラシ

27

各地域の重点項目の主な取組状況・成果

佐賀中部地域（佐賀市、多久市、小城市）

(1) 園芸団地の整備・拡大

- ・ 佐賀市施設なす部会がトレーナー制を導入し、研修生を1名確保。
- ・ トレーナーによる強力な指導等により、ピーマンチャレンジファーム修了生の収量は部会平均を上回る結果。
- ・ 佐賀市内に園芸団地用の農地約3haを確保。管内第1号となる園芸団地構想を策定（佐賀市の北川副、西川副地区）。



ピーマンチャレンジファームでの研修

(2) 担い手への農地集積・集約と経営発展

- ・ 佐賀市大和町では、耕作放棄水田を含むみかん園（1.5ha）を整備・集約し、露地みかん団地3.4haを造成。
- ・ 佐賀市で新規参入（ミニトマト）する企業に対して農地確保を支援。



整備された佐賀市大和町のみかん団地

(3) 中山間地域農業の維持・発展に向けた取組の強化

- ・ 佐賀市富士町の（株）北山神水川ファームは、直播による水稻の低コスト栽培、さといもやさつまいも等の露地野菜の作付けにより、収益が向上。
- ・ 佐賀市三瀬村の中鶴集落を中心とした3集落が協定を締結し、広域連携によるイノシシ被害の低減対策等の取組を開始。



広域集落協定発足総会

28

各地域の重点項目の主な取組状況・成果

東部地域（鳥栖市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町）

(1) 園芸団地の整備・拡大

- 昨年度設立された「みやき町園芸団地運営協議会」に続き、「神崎市園芸団地運営協議会」が設立。
- 「三神いちごトレーニングファーム」、「ピーマンチャレンジファーム」を設置。



ピーマンチャレンジファーム

(2) 水田農業を担う生産組織の強化

- 集落営農法人におけるブロッコリーや加工用さつまいも等の露地野菜の作付面積が拡大。
- プール経理へ移行する前段階として、水稻育苗や麦の播種などの一部作業の共同化を推進。



水稻の共同育苗

(3) 次世代の農業を担う農業経営体の確保・育成

- 令和5年度の新規就農者は16名となり、目標（年間15人）を達成。
- トレーナー制を活用し、いちご部会で1名、アスパラ部会で3名の研修生を受入れ。
- 新たに設置された「三神いちごトレーニングファーム」の研修生を2名確保。



三神いちごトレーニングファーム
(神崎市千代田町)

29

各地域の重点項目の主な取組状況・成果

唐津・東松浦地域（唐津市、玄海町）

(1) 次世代の農業を担う新規就農者の確保

- 就農啓発セミナーの開催により、11名の就農希望者の掘り起こしに成功。
- いちごとアスパラガスのミニトレーニングファームを整備。
- いちご・アスパラガス・きゅうりを対象品目とする唐津市園芸団地構想及びいちごを対象品目とする玄海町園芸団地構想を策定。



アスパラガスのミニトレーニングファーム
(唐津市浜玉町)

(2) 露地野菜の生産拡大

- 栽培管理講習会の開催等をきっかけに焼酎原料用さつまいもの生産者グループが発足するなど、新規栽培者が増加中。
- 省力化機械の実演会をきっかけに、一部の生産者グループが露地野菜の省力化機械の共同利用を開始。



省力化機械の実演会

(3) 「佐賀牛」の生産基盤の強化

- 「佐賀牛いろはファーム」のトレーニング機能を活用した研修制度の運営を行う協議会を発足。
- 離農した元繁殖農家の空き牛舎40件について、牛舎の規模や老朽化の程度などの状況を関係機関で整理・リスト化。



空き牛舎を実測する様子

30

各地域の重点項目の主な取組状況・成果

伊万里・西松浦地域（伊万里市、有田町）

(1) 次世代の農業を担う新規就農者の確保

- ・「府招上地区の樹園地を守る会」、「立川梨園を守る会」による園地流動化や担い手確保の取組を支援。
- ・いちご部会では、地区ごとにトレーナーを選定。
- ・いちご、アスパラガス、なし、ぶどうのミニトレーニングファームの整備を計画中。



「守る会」会員による研修生の受入れ

(2) 園芸団地の整備・拡大

- ・「伊万里市園芸団地運営協議会」を設立し、瀬戸新田を核とした伊万里市園芸団地構想を策定。瀬戸新田の施設園芸団地候補地の周辺では水田約30haが基盤整備予定。
- ・いちごの就農啓発セミナーを開催し、5名が参加。



「伊万里市園芸団地運営協議会」設立総会

(3) 中山間地域農業の発展に向けた取組の強化

- ・集落営農組織等の運営力向上を目的に集落リーダー研修会を開催。「魅力ある地域づくり研究所」代表による講演を実施。
- ・有田町の北ノ川内集落では、非農家の住民向けにお米の試食会を実施したところ、高い評価が得られ、農家の栽培意欲が向上。



お米の試食会

3 |

各地域の重点項目の主な取組状況・成果

武雄・杵島地域（武雄市、大町市、江北町、白石町）

(1) たまねぎの生産拡大

- ・ピッカーの導入件数が16件、集荷選果場での鉄コンテナ集荷農家数が11件増加するなど、機械化体系の普及が加速化。
- ・規模拡大意向がある5ha以上の生産者（15戸）で構成されるグループが新たに発足。



鉄コンテナ対応機械を用いた収穫作業

(2) 多様な雇用人材の確保に向けた体制の強化

- ・たまねぎ選果場3箇所に延べ16名の特定技能外国人を派遣したところ、選果場の荷受率が向上。
- ・農福連携によるたまねぎの根葉切り作業の実証を実施。生産者からは高い評価。
- ・特定技能外国人や既存受託組織による労力補完件数は84件。



特定技能外国人によるたまねぎ選果作業

(3) 次世代の農業を担う農業経営体の確保・育成

- ・トレーニングファームでは、きゅうりで4名、いちごで4名の計8名が研修を修了し、就農。
- ・令和5年度までに合計6箇所の園芸団地整備が完了し、13名が入植。
- ・令和5年度の新規就農者は44名（前年度から5名増）。



きゅうりトレーニングファームの講師と修了生

32

各地域の重点項目の主な取組状況・成果

鹿島・藤津地域（鹿島市、嬉野市、太良町）

(1) 果樹団地の新規拡大と経営の継承

- 鹿島市の音成・嘉瀬の浦地区で12.9haの基盤整備が開始。令和6年度から根域制限栽培での露地みかんが新植予定。
- 太良町では、1.2haの園芸団地構想が策定。
- 「かんきつ+ぶどう」のトレーナー1名が設置され、令和5年度は研修生1名を受入れ。



基盤整備実施中の音成・嘉瀬の浦地区

(2) 次世代の農業を担う農業経営体の確保・育成

- 関係機関で構成するワンストップ就農相談窓口を毎月開設し、令和5年度は計37名の就農支援を実施。
- シャインマスカットとみかんの就農啓発セミナーを開催し、参加者19名のうち12名が栽培してみたいとの意向。そのうち1名が令和6年度からみかん根域制限栽培に取り組む予定。



シャインマスカットの就農啓発セミナー

(3) 中山間地域農業の発展に向けた取組の強化

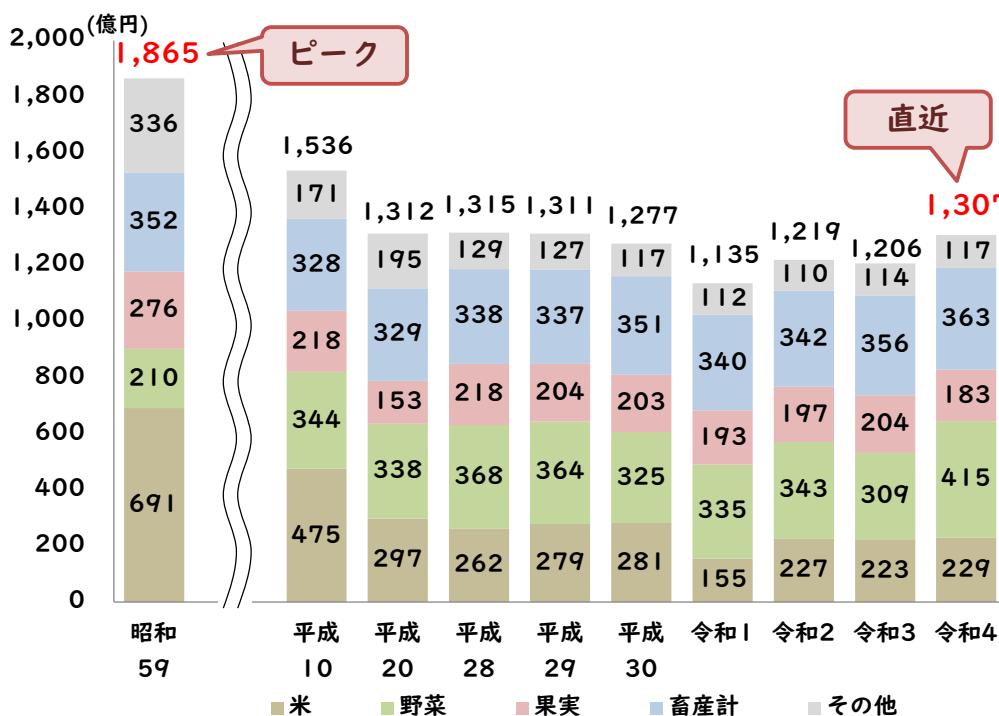
- 二番茶の摘採葉を集約生産し、工場稼働率の向上による生産コストの削減を図る取組を試行。燃料代は前年度対比最大22%減。
- 「多良岳オレンジ海道を活かす会」がドローンによるかんきつ防除実証を実施中。鹿島市と太良町で計7名のみかん農家のオペレーターを確保。



ドローン防除の実証 33

関連統計

農業産出額の推移



産出額上位5品目（令和4年）

順位	品目名	産出額	構成比
		(億円)	(%)
1	米	229	17.5
2	肉用牛	182	13.9
3	たまねぎ	172	13.2
4	みかん	123	9.4
5	ブローラー	96	7.3

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

R4年度においては、北海道の不作に伴い全国的に供給量不足となったたまねぎの単価が高騰したこと等により、前年から101億円増加。

※平成19年から農業産出額の推計方法が改められたため、それまでのデータとは連続しない。